

第2号議案 令和5年度決算報告

決算概要

本会財務の懸念事項である会費収入の減少問題は、令和5年度においても44,219千円と前期比△2.0%と解消されなかったが、減少ペースはコロナ蔓延時に比べ落ち着いた感じがある。各支部及び本部委員会等の努力により本来の活動を取り戻し、それに連れて入会者の増加、退会者の抑制が部分的ではあるが実現されたとみられる。

事業収益は4,796千円で、こちらは前期比△56.6%の大幅減である。

令和5年度より晩餐会の一部業務を外部に委託することによりその収益金額（同様に対応する費用金額も）が大きく減少した。

寄附金等の収益は27,101千円に達した。これは前期比56.4%増である。120周年記念事業活動が2025年を前にして活発化するに伴い、会員他にお願いした寄附金も増えたことが大きい。

その他の収益についても17,794千円で前期比57.2%増となった。実施した120周年記念事業参加者からの負担金が大きかったことにもよる。

以上を合計した経常収益計は97,478千円となった。前期が88,259千円だったため9,219千円（10.4%）の増加となった。

一方、経常費用のうち事業費は96,339千円と前年度の89,085千円7,253千円上回ることであった（8.1%増）。うち120周年記念事業費は22,949千円と前期より2.04倍に増加している。一方、管理費については4,181千円となり、前期金額を若干下回った。

その結果、事業費及び管理費の計は100,520千円となり、前期の93,505千円に対しては7,014千円の増加となった（7.5%増）。経常損益（経常増減額）は3,041千円の赤字決算となったが、前年度は5,246千円の赤字であったので2,205千円の改善となった。

以上は一般正味財産増減の部の中の経常増減の部であるが、指定正味財産増減の部については、本年度は新たな指定寄附金の受領はなく（会員よりの120周年記念事業寄附金は全てその年度の寄附金として計上している）、過年度の指定寄附金で当年度の120周年記念事業費用等に充てるため2,361千円を取崩し一般正味財産に振替えている。

最近5年間の経常増減及び正味財産の推移

（単位：千円）

		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
収益	会費・入会金	47,784	48,544	49,639	50,294	52,636
	事業収益	4,796	11,060	2,960	2,934	16,448
	寄附金等	27,101	17,331	7,290	20,390	7,070
	その他収入	17,794	11,321	5,671	11,155	9,519
	経常収益計	97,478	88,259	65,561	84,774	85,674
費用	事業費	96,339	89,085	66,769	72,811	87,433
	管理費	4,181	4,420	4,072	4,219	4,303
	経常費用計	100,520	93,505	70,841	77,030	91,736
経常増減額		△3,041	△5,246	△5,279	7,744	△6,061
一般正味財産期末残高		226,319	229,361	234,717	239,996	232,252
指定正味財産期末残高		44,001	46,361	39,972	38,967	39,254

当期決算の詳細説明

収益の推移

令和5年度の経常収益合計額は99,761千円となり、対前期比6,502千円、7.4%の増加となった。

●**会費・入会金**について、新規入会獲得については本部、各支部とも並々ならぬ努力を続けており、令和5年度においては正会員186名（うち準会員より移行31名）及び準会員78名の新規入会があり、入会金収益は比較的順調であった。

一方で会費収益は、正会員について退会者が多く、当年度における正会員数の純減（増加数と減少数を差引）は106名であった。このため受取会費は44,219千円となり、対前年度比△904千円、2.0%の減少となった。高齢・体調悪化を理由とする退会は続いているが、コロナ鎮静化で支部での登山講習会等の山岳会活動が再開されたことにより、期待ギャップからの退会の歯止めとなっている。

準会員については毎年安定的に入会者があるものの、期間満了時の正会員移行者が50%を切る状況である。会費と入会金の合計額については47,784千円で対前年度比△760千円（△1.56%）と減少度合いは落ち着いたものとなった。

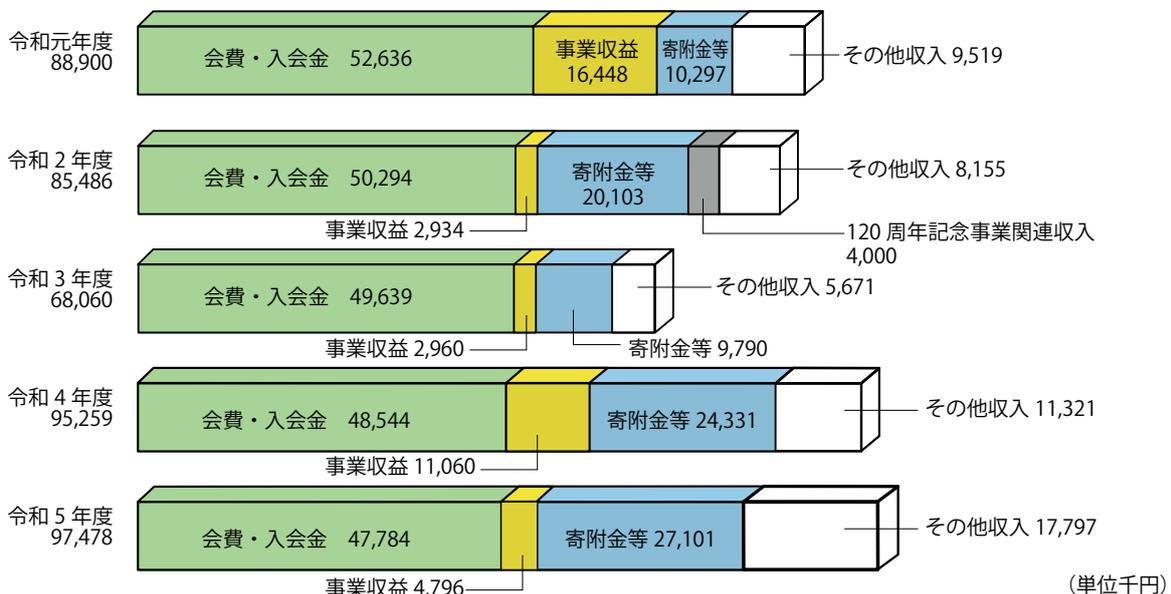
●**事業収益**は、合計で4,796千円となり、前期の11,060千円より△6,264千円（△56.6%）と大きく減少した。コロナで中止していた年次晩餐会を昨年度は開催し6,303千円の収益を計上していたが、本年度は晩餐会の一部業務を外部に委託したため、実際には6,640千円あった収益が計上されなくなったことが原因である。

山研の使用収益は前期の2,175千円が2,660千円と増加した（令和4年度665名、令和5年度746名）。

●**寄附金等**については、補助金等が1,365千円で、前年度比547千円増加した。寄附金は120周年記念事業支援の寄附金を会員他にお願いしたことによる5,960千円を含め18,228千円、法人寄附金や過年度に指定寄附金として特定資産に計上されたものの当期取崩し額を含め25,736千円が計上された。昨年度の寄附金は16,514千円なので大幅な増加となった。

●**その他収入**の内訳は、支部開催行事参加費や保険取扱手数料収入等雑多なものが含まれるが、当年度は合計額で15,077千円となり、対前年度比3,757千円（33.2%）の増加となった。この中には、120周年事業として実施したグレート・ヒマラヤ・トラバース、ヒマラヤキャンプ、日本エクアドル合同登山の参加者負担金6,300千円があったことが大きい。支部行事負担金は、当年度は4,662千円減の813千円となった。

収入の5年間推移



事業費と管理費の推移

事業費と管理費については、総額で 100,520 千円となり、前期の 93,505 千円に対して 7,014 千円（7.5%）の増加となっている。当期決算の概要で説明のとおり令和 5 年度はコロナウイルスの影響がほぼ払拭され、支部・委員会とも事業実施に努力し、公益事業についても従前の水準に復しつつある。120 周年記念事業についても予定通りグレート・ヒマラヤ・トラバース（第 3 期及び第 4 期）、ヒマラヤキャンプ（第 2 回）、日本エクアドル合同登山他を実施できた。

事業費について、費目別には昨年度大きく増加した旅費交通費は 15,996 千円と大きく伸びている。また国内・海外の活動活発化により支払手数料も 12,622 千円と増加している。反面、昨年増加した会議費は 3,264 千円と一昨年の水準に戻っている。

事業費は「公益法人会計基準運用指針」に例示された科目により表示しているが、事業ごとの成果を明らかにするため、ここでは本会で管理のために利用している事業区分に従って説明する。

（単位：千円）

	令和 5 年度	令和 4 年度
出版事業費	12,851	13,074
図書管理事業費	4,096	5,600
支部事業費	17,815	17,084
高尾の森づくり事業費	2,001	2,051
YOUTH CLUB 事業費	1,304	754
山岳研究所等事業費	7,383	7,141
120 周年記念事業費	22,949	11,261
その他事業費	6,260	11,850
事業管理費	21,680	20,267
管理費	4,181	4,420
合計	100,520	93,505

出版事業費は、12,851 千円となり、対前年度比△ 223 千円の微減となった。印刷コスト（印刷製本費）の上昇は高止まり感があるが、関係者の努力で当期は僅かながらも引き下げられた。

図書管理事業費は、図書委員会の活動費と本会の有する山岳図書館の管理費用からなっており、経費節減に努め、当年度は 4,096 千円となり前年度比△ 1,503 千円の減少であった。

支部事業費は、各支部に交付した運営交付金及び支部事業助成金 5,756 千円と新入会員獲得奨励金 856 千円、特別事業補助金等を原資の一部とする支部の活動費用である。当年度は、17,815 千円となり、対前年度比 731 千円（4.3%）の増加となった。他団体補助金、支部で集めた寄附金を含む他、コロナ特例で繰り越していた過去の交付金等を含んでいる。支部事業が各地域で従来の状況を回復できたことによるものが大きい。

山岳研究所等事業費（ミニ水力発電事業費含む）は、当年度は 7,383 千円で、前年度比 242 千円の増加となった。新型コロナウイルス予防の観点から行ってきた利用者の制限は緩和されたが、本年度の利用者は 746 名とコロナ前の水準（平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間平均 861 名）に戻っていない。建物設備の減価償却費、修繕費、また管理人費用等の発生は通年と同様であり、大きな変動はなかった。

120 周年記念事業費 令和 7 年に日本山岳会の創立 120 年を迎えるため、令和 2 年度から 120 周年記念事業がスタートしている。当年度においてはグレート・ヒマラヤ・トラバース（GHT）、ヒマラヤキャンプ他の海外関係の行事が実施できた。当年度中に実施された事業費用は 21,680 千円であった。また次の図のように、金額的に大きいものを示せば次のようになる。

本年度中の 120 周年記念事業の状況

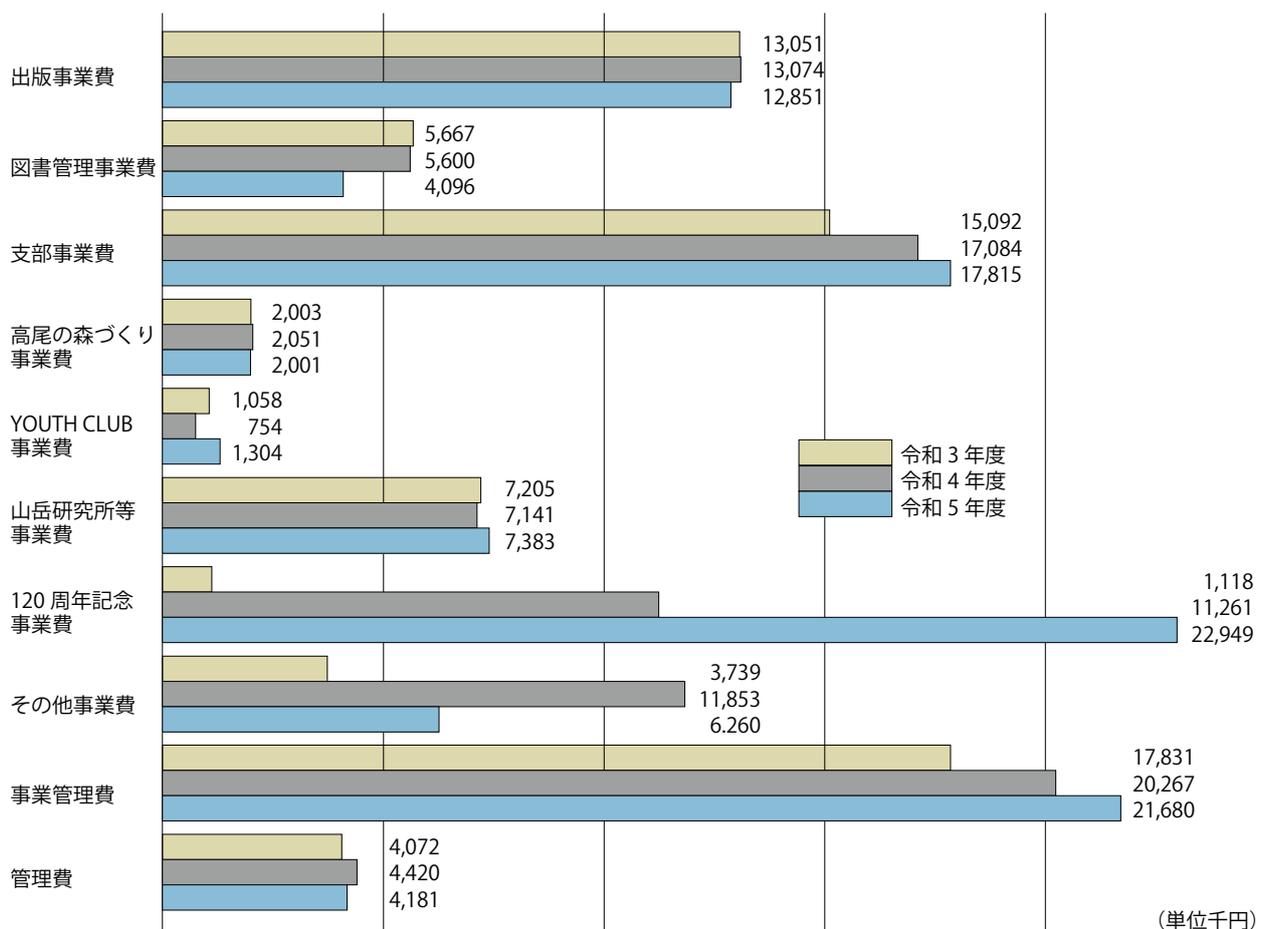
(単位：千円)

	GHT (3)	GHT (4)	ヒマラヤ キャンプ	日本エクアド ル友好登山	山岳古道調査	コーカサスの桜	その他の 記念事業
寄附金・助成金	2,329	603	4,118		673	1,672	743
(うち特定資産取崩し受入)			2,000		300		
参加者負担等	4,600	4,000	1,200	2,717			
本部当年度費用処理	5,935	4,520	5,430	4,217	898	1,672	276
差引	994	83	△ 112	△ 1,500	△ 225	0	467
令和 5 年度繰越仮払		2,883	1,295				

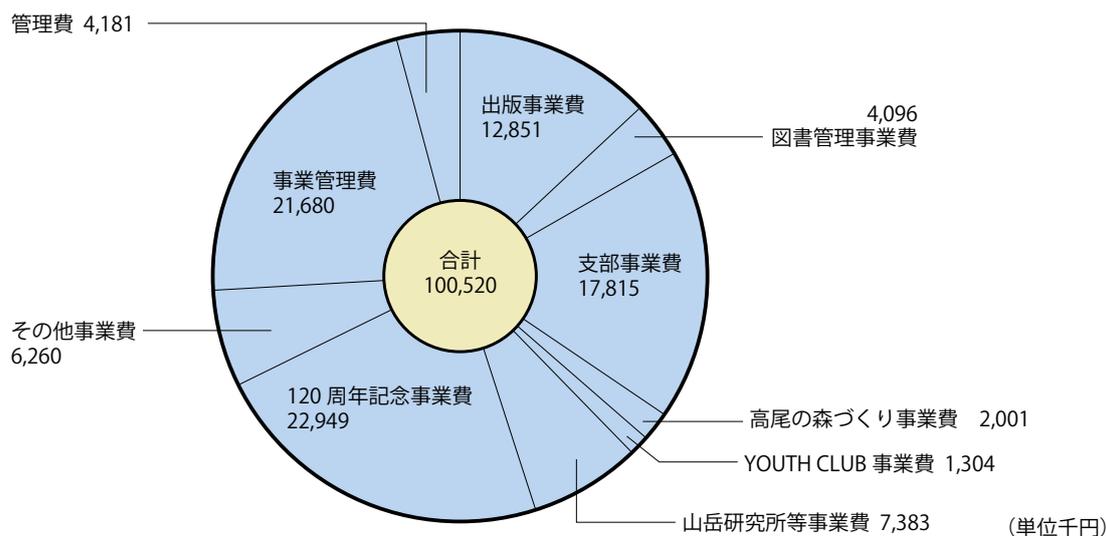
その他の事業費については、高尾の森づくり事業費が 2,001 千円、YOUTH CLUB 事業費が 1,304 千円となった。その他事業費について、本年度は収益の推移で記したように、年次晩餐会の開催を外部に委託したため会議費が前期より 5,590 千円減少し、その他事業費全体では 3,581 千円となった。なお前ページの表中のその他事業費には調査研究、海外登山など掲記しなかった事業費を含めているため数字は一致していない。

事業管理費及び管理費（間接費）は、本部事務所の維持費用及び人件費、通信費、支払手数料等である。これらについては全般的な経費節減に努め合計で 25,861 千円、対前期比 1,174 千円(4.8%)の増加となった。

主な事業費・管理費の 3 年間グラフ



事業費・管理費の構成グラフ（令和5年度）



貸借対照表の説明

令和6年3月末現在の貸借対照表において**現金及び預金**は41,030千円となり、対前年度比で294千円、0.7%の微増となった。**流動資産合計**では51,494千円となり、573千円、1.1%減少している。これは主に120周年事業に関わる仮払金等が一部精算されたことによるものである。

固定資産について、**基本財産**は8,000千円で変動はない。

特定資産である**秩父宮記念基金**（15,200千円）は、本会の秩父宮記念山岳賞の顕彰賞金を支給するための基金である。**海外登山基金**（14,289千円）は、今後の海外登山等の助成金及び120周年記念事業の海外登山の助成金を対象として留保された資金である。**遭難防止事業基金**（10,000千円）を含めて当年度の変動はない。**長期計画準備金**（36,512千円）は、上高地山岳研究所の修繕費用又は再建費用として留保している資金である。**退職給付引当資産**は職員への退職金支給に備えるための預金で、当年度は2名の職員の退職による退職金額6,766千円を取崩し、両名の功労加算分を含め1,335千円を繰り入れている。また、指定寄付金を受け120周年記念事業特定資産としたヒマラヤキャンプ基金のうち2,000千円、及び実施した事業に対応して2件の特定資産の一部または全部の取り崩しを行っている。以上の結果、**特定資産合計**は、88,794千円となり、対前年度比7,790千円、8.1%減少した。

その他固定資産は当年度に増加した資産は、本部エアコン544千円位しかなく、減少は減価償却費の3,793千円の計上である。

この結果、**固定資産合計**は224,526千円となり、特定資産の減少を反映し対前年度比11,039千円、4.7%減少した。**資産合計**も276,021千円となり、対前年度比11,613千円、4.0%の減少となった。

負債については、会報印刷、発送費等の**未払費用**が974千円であり、未払金を含めたところで対前年度比678千円、41.0%の減少。**前受金**は会費前受分で302千円、対前年度比132千円、78.5%の増加。源泉所得税や次年度支出等の**預り金**が対前年度比で236千円、11.9%減少し1,753千円となった。これに職員の**退職給付引当金**2,670千円(対前年度5,430千円減少)を加えた**負債合計**は5,700千円、対前年度比6,211千円、52.1%の減少となった。

以上の結果、当年度末の**一般正味財産合計額**は、226,319千円となり、対前年度比で3,041千円、1.3%の減少、**指定正味財産合計額**は、44,001千円となり、対前年比2,360千円、5.1%減少、**正味財産合計**では270,320千円で、対前年比5,402千円、2.0%減少となった。

(注1：表示方法について)

決算概要において、数値の記載は表示単位未満を切り捨て、比率の記載は表示単位未満を四捨五入して表示している。

貸借対照表(案)

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	41,030,917	40,736,777	294,140
未収会費	2,328,000	2,424,000	△ 96,000
貯蔵品	727,672	540,970	186,702
前払費用	247,683	233,566	14,117
仮払金	7,160,516	8,133,329	△ 972,813
流動資産合計	51,494,788	52,068,642	△ 573,854
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	8,000,000	8,000,000	0
基本財産合計	8,000,000	8,000,000	0
(2) 特定資産			
秩父宮記念基金	15,200,000	15,200,000	0
海外登山基金	14,289,792	14,289,792	0
遭難防止事業基金	10,000,000	10,000,000	0
長期計画準備金	36,512,491	36,512,491	0
退職給付引当資産	2,670,828	8,100,896	△ 5,430,068
120周年記念事業特定資産	3,090,000	3,090,000	0
山岳古道調査特定資産	0	300,000	△ 300,000
ヒマラヤキャンプ基金	4,000,000	6,000,000	△ 2,000,000
施設整備特定資産	1,784,452	1,784,452	0
YOUTH CLUB活動特定資産	500,000	500,000	0
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	246,841	307,389	△ 60,548
坂口三郎基金	500,000	500,000	0
特定資産合計	88,794,404	96,585,020	△ 7,790,616
(3) その他固定資産			
土地	90,546,120	90,546,120	0
建物	31,803,729	34,086,031	△ 2,282,302
建物附属設備	3,783,580	4,828,717	△ 1,045,137
機械装置	76,335	114,502	△ 38,167
什器備品	931,792	708,270	223,522
水道施設利用権	590,534	697,734	△ 107,200
その他固定資産合計	127,732,090	130,981,374	△ 3,249,284
固定資産合計	224,526,494	235,566,394	△ 11,039,900
資産合計	276,021,282	287,635,036	△ 11,613,754
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	682,455	△ 682,455
未払費用	974,062	969,574	4,488
前受金	302,000	169,200	132,800
預り金	1,753,418	1,989,665	△ 236,247
流動負債合計	3,029,480	3,810,894	△ 781,414
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,670,828	8,100,896	△ 5,430,068
固定負債合計	2,670,828	8,100,896	△ 5,430,068
負債合計	5,700,308	11,911,790	△ 6,211,482
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	44,001,284	46,361,834	△ 2,360,550
指定正味財産合計	44,001,284	46,361,834	△ 2,360,550
(うち基本財産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(36,001,284)	(38,361,834)	(△2,360,550)
2. 一般正味財産	226,319,690	229,361,412	△ 3,041,722
(うち特定資産への充当額)	(50,122,292)	(50,122,290)	(2)
正味財産合計	270,320,974	275,723,246	△ 5,402,272
負債及び正味財産合計	276,021,282	287,635,036	△ 11,613,754

正味財産増減計算書(案)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	163	336	△ 173
基本財産受取利息振替額	163	336	△ 173
特定資産運用益	1,612	1,670	△ 58
特定資産受取利息	1,106	1,167	△ 61
特定資産受取利息振替額	506	503	3
受取入会金	3,565,000	3,420,000	145,000
受取入会金	3,180,000	2,945,000	235,000
準会員入会金	385,000	475,000	△ 90,000
受取会費	44,219,900	45,124,700	△ 904,800
通常会費	42,914,900	43,769,700	△ 854,800
終身会費	33,000	33,000	0
準会員会費	1,272,000	1,322,000	△ 50,000
事業収益	4,796,313	11,060,738	△ 6,264,425
広告料収益	762,800	714,430	48,370
印税収益	137,266	286,270	△ 149,004
刊行物売上収益	56,825	50,115	6,710
山研使用料収益	2,660,505	2,175,403	485,102
登山講習会収益	13,000	221,500	△ 208,500
その他事業収益	1,165,917	7,613,020	△ 6,447,103
受取補助金等	1,365,000	817,689	547,311
受取地方公共団体補助金	1,315,000	767,689	547,311
受取民間助成金	50,000	50,000	0
受取寄附金	25,736,071	16,514,036	9,222,035
受取寄附金	847,397	1,315,175	△ 467,778
会員寄附金	18,228,124	8,878,311	9,349,813
受取法人寄附金	4,300,000	5,710,000	△ 1,410,000
受取寄附金振替額	2,360,550	610,550	1,750,000
雑収益	17,794,429	11,319,948	6,474,481
受取利息	384	461	△ 77
支部行事負担金	4,050,556	5,476,254	△ 1,425,698
その他雑収益	13,743,489	5,843,233	7,900,256
経常収益計	97,478,488	88,259,117	9,219,371
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	9,145,778	10,962,404	△ 1,816,626
通勤手当	205,970	175,830	30,140
臨時雇賃金	110,580	110,124	456
退職給付費用	1,210,355	318,145	892,210
福利厚生費	1,699,698	2,249,422	△ 549,724
旅費交通費	15,996,383	7,391,812	8,604,571
通信運搬費	8,569,598	8,551,676	17,922
会議費	3,264,475	9,101,132	△ 5,836,657
什器備品費	699,879	1,808,274	△ 1,108,395
消耗品費	4,627,399	3,893,717	733,682
修繕費	1,632,290	0	1,632,290
印刷製本費	14,204,177	12,235,183	1,968,994
燃料費	84,482	73,875	10,607
光熱水料費	1,254,719	1,354,363	△ 99,644
電話料	191,016	277,923	△ 86,907
賃借料	713,259	229,659	483,600
保険料	2,437,132	2,048,733	388,399
租税公課	932,915	915,072	17,843
諸謝金	3,116,104	2,521,898	594,206
負担金	224,930	238,260	△ 13,330
支払手数料	12,622,040	11,047,699	1,574,341
販売品購入費	286,846	1,356,640	△ 1,069,794

(次頁に続く)

(前頁より)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
建物減価償却費	2,230,531	2,301,432	△ 70,901
建物附属設備減価償却費	1,042,288	1,344,689	△ 302,401
機械装置減価償却費	38,167	38,167	0
什器備品減価償却費	308,256	286,910	21,346
水道施設利用権減価償却費	107,200	107,200	0
助成金	0	200,000	△ 200,000
海外登山助成金	400,000	580,000	△ 180,000
支部特別事業補助金	160,000	0	160,000
事務所管理費	2,201,245	1,965,101	236,144
その他管理費	548,415	466,438	81,977
雑費	6,073,067	4,933,768	1,139,299
事業費計	96,339,194	89,085,546	7,253,648
管理費			
給料手当	2,882,069	3,227,005	△ 344,936
通勤手当	85,672	100,080	△ 14,408
退職給付費用	125,577	33,008	92,569
福利厚生費	144,163	201,575	△ 57,412
旅費交通費	64,958	60,955	4,003
通信運搬費	93,034	91,492	1,542
会議費	32,143	28,148	3,995
什器備品費	14,650	48,470	△ 33,820
消耗品費	21,253	20,176	1,077
修繕費	69,300	0	69,300
印刷製本費	77,445	49,300	28,145
光熱水料費	28,201	30,935	△ 2,734
電話料	12,192	17,739	△ 5,547
保険料	7,860	7,597	263
租税公課	40,935	39,828	1,107
負担金	3,000	3,000	0
支払手数料	214,752	200,837	13,915
建物減価償却費	51,771	54,833	△ 3,062
建物附属設備減価償却費	2,849	2,849	0
什器備品減価償却費	12,722	7,266	5,456
事務所管理費	140,505	125,431	15,074
その他管理費	35,005	29,772	5,233
雑費	20,960	40,099	△ 19,139
管理費計	4,181,016	4,420,395	△ 239,379
経常費用計	100,520,210	93,505,941	7,014,269
評価損益等調整前当期経常増減	△ 3,041,722	△ 5,246,824	2,205,102
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,041,722	△ 5,246,824	2,205,102
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除去損	0	108,832	△ 108,832
経常外費用計	0	108,832	△ 108,832
当期経常外増減額	0	△ 108,832	108,832
当期一般正味財産増減額	△ 3,041,722	△ 5,355,656	2,313,934
一般正味財産期首残高	229,361,412	234,717,068	△ 5,355,656
一般正味財産期末残高	226,319,690	229,361,412	△ 3,041,722
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	7,000,000	△ 7,000,000
受取寄附金	0	6,000,000	△ 6,000,000
会員寄附金	0	1,000,000	△ 1,000,000
基本財産運用益	163	336	△ 173
基本財産受取利息	163	336	△ 173
特定資産運用益	506	505	1
特定資産受取利息	506	505	1
一般正味財産への振替額	△ 2,361,219	△ 611,389	△ 1,749,830
当期指定正味財産増減額	△ 2,360,550	6,389,452	△ 8,750,002
指定正味財産期首残高	46,361,834	39,972,382	6,389,452
指定正味財産期末残高	44,001,284	46,361,834	△ 2,360,550
III 正味財産期末残高	270,320,974	275,723,246	△ 5,402,272

正味財産増減計算書内訳表(案)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	登山振興事業	山岳研究調査事業	山岳環境保全事業	共通	小計	共通		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益	0	0	0	0	0	0	163	163
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	163	163
基本財産受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	93	1,612
特定資産運用益	0	0	0	1,519	1,519	0	93	1,106
特定資産受取利息	0	0	0	1,013	1,013	0	93	1,106
特定資産受取利息振替額	0	0	0	506	506	0	0	506
受取入会金	0	0	0	1,977,500	1,977,500	635,000	952,500	3,565,000
受取入会金	0	0	0	1,592,500	1,592,500	635,000	952,500	3,180,000
連会員入会金	0	0	0	385,000	385,000	0	0	385,000
受取会費	0	0	0	22,741,950	22,741,950	8,583,980	12,893,970	44,219,900
通常会費	0	0	0	21,471,450	21,471,450	8,577,380	12,866,070	42,914,900
終身会費	0	0	0	16,500	16,500	6,600	9,900	33,000
準会員会費	0	0	0	1,254,000	1,254,000	0	18,000	1,272,000
事業収益	115,625	2,660,505	0	139,266	2,915,396	1,880,917	0	4,796,313
広告料収益	52,800	0	0	0	52,800	710,000	0	762,800
山岳広告料	52,800	0	0	0	52,800	0	0	52,800
会報広告料	0	0	0	0	0	710,000	0	710,000
印税収益	0	0	0	137,266	137,266	0	0	137,266
刊行物売上収益	49,825	0	0	2,000	51,825	5,000	0	56,825
山岳売上	22,825	0	0	0	22,825	0	0	22,825
会報売上	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000
その他売上	27,000	0	0	2,000	29,000	0	0	29,000
山研使用料収益	0	2,660,505	0	0	2,660,505	0	0	2,660,505
登山講習会収益	13,000	0	0	0	13,000	0	0	13,000
その他事業収益	0	0	0	0	0	1,165,917	0	1,165,917
物品販売収益	0	0	0	0	0	921,069	0	921,069
その他事業収益	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
晩餐会収益	0	0	0	0	0	224,848	0	224,848
受取補助金等	0	0	0	1,365,000	1,365,000	0	0	1,365,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	1,315,000	1,315,000	0	0	1,315,000
受取民間助成金	0	0	0	50,000	50,000	0	0	50,000
受取寄附金	9,038,000	0	2,001,274	11,894,947	22,934,221	310,000	2,491,850	25,736,071
受取寄附金	0	0	0	847,397	847,397	0	0	847,397
会員寄附金	6,738,000	0	1,274	8,687,000	15,426,274	310,000	2,491,850	18,228,124
受取法人寄附金	0	0	2,000,000	2,300,000	4,300,000	0	0	4,300,000
受取寄附金振替額	2,300,000	0	0	60,550	2,360,550	0	0	2,360,550
雑収益	9,800,000	3,000	0	5,674,146	15,477,146	1,839,999	477,284	17,794,429
受取利息	0	0	0	43	43	0	341	384
支部行事負担金	0	0	0	2,349,159	2,349,159	1,701,397	0	4,050,556
その他雑収益	9,800,000	3,000	0	3,324,944	13,127,944	138,602	476,943	13,743,489
登山隊個人負担金	9,800,000	0	0	9,800,000	9,800,000	0	0	9,800,000
その他雑収益	0	3,000	0	3,324,944	3,327,944	138,602	476,943	3,943,489
経常収益計	18,953,625	2,663,505	2,001,274	43,794,328	67,412,732	13,249,896	16,815,860	97,478,488

科目	公益目的事業会計				小計	収益事業等会計		法人会計	合計	
	登山振興事業		山岳研究調査事業			共通	共益			
	登山振興事業	山岳研究調査事業	山岳環境保全事業	共益						
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	47,942,181	18,138,382	9,990,533	0	76,431,670	360,574	19,907,524	0	96,339,194	
通勤手当	2,056,621	5,032,536	2,056,621	0	9,145,778	0	0	0	9,145,778	
臨時雇賃金	61,134	83,702	61,134	0	205,970	0	0	0	205,970	
退職給付費用	0	0	0	0	110,580	0	0	0	110,580	
福利厚生費	229,780	750,795	229,780	0	1,210,355	0	0	0	1,210,355	
旅費交通費	263,788	1,172,122	263,788	0	1,699,698	0	0	0	1,699,698	
通信運搬費	14,446,228	619,622	542,628	18,500	15,626,978	0	369,405	0	15,996,383	
会議費	2,518,120	667,790	619,607	660	3,806,177	0	4,763,421	0	8,569,598	
仕器備品費	1,384,220	166,078	737,388	0	2,287,686	0	976,789	0	3,264,475	
消耗品費	250,810	166,960	51,667	0	469,437	0	230,442	0	699,879	
修繕費	1,667,284	433,620	1,905,212	0	4,006,116	0	621,283	0	4,627,399	
印刷製本費	242,550	904,640	242,550	0	1,389,740	0	242,550	0	1,632,290	
燃料費	6,774,340	400,134	404,502	0	7,578,976	0	6,625,201	0	14,204,177	
光熱水料費	98,703	958,610	98,703	0	1,156,016	0	98,703	0	1,254,719	
電話料	42,673	62,997	42,673	0	148,343	0	42,673	0	191,016	
賃借料	642,510	70,749	0	0	713,259	0	0	0	713,259	
保険料	1,607,883	400,520	368,999	0	2,377,402	0	59,730	0	2,437,132	
租税公課	143,272	446,799	143,272	0	733,343	0	199,572	0	932,915	
諸謝金	2,803,405	0	312,699	0	3,116,104	0	0	0	3,116,104	
負担金	100,500	103,430	10,500	0	214,430	0	10,500	0	224,930	
支払手数料	6,705,909	1,368,255	766,414	111,714	8,952,292	0	3,669,748	0	12,622,040	
販売品購入費	0	0	0	0	0	0	286,846	0	286,846	
建物減価償却費	388,868	1,479,263	181,200	0	2,049,331	0	181,200	0	2,230,531	
建物附属設備減価償却費	9,972	1,012,372	9,972	0	1,032,316	0	9,972	0	1,042,288	
機械装置減価償却費	0	38,167	0	0	38,167	0	0	0	38,167	
仕器備品減価償却費	78,297	140,905	44,527	0	263,729	0	44,527	0	308,256	
水道施設利用権減価償却費	0	107,200	0	0	107,200	0	0	0	107,200	
海外登山助成金	400,000	0	0	0	400,000	0	0	0	400,000	
支部特別事業助成金	160,000	0	0	0	160,000	0	0	0	160,000	
事務所管理費	491,767	725,944	491,767	0	1,709,478	0	491,767	0	2,201,245	
その他管理費	122,518	180,861	122,518	0	425,897	0	122,518	0	548,415	
雑費	4,251,029	559,829	171,832	229,700	5,212,390	0	860,677	0	6,073,067	
管理費										
給料手当	0	0	0	0	0	0	4,181,016	0	4,181,016	
通勤手当	0	0	0	0	0	0	2,882,069	0	2,882,069	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	85,672	0	85,672	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	125,577	0	125,577	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	144,163	0	144,163	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	64,958	0	64,958	
会議費	0	0	0	0	0	0	93,034	0	93,034	
仕器備品費	0	0	0	0	0	0	32,143	0	32,143	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	14,650	0	14,650	
修繕費	0	0	0	0	0	0	21,253	0	21,253	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	69,300	0	69,300	
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	77,445	0	77,445	
							28,201		28,201	

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	登山振興事業	山岳研究調査事業	山岳環境保全事業	共通	小計		
電話料							12,192
保険料							7,860
租税公課							40,935
負担金							3,000
支払手数料							214,752
建物減価償却費							51,771
建物附属設備減価償却費							2,849
什器備品減価償却費							12,722
事務所管理費							140,505
その他管理費							35,005
雑費							20,960
経費用計	47,942,181	18,138,382	9,990,533	360,574	76,431,670	19,907,524	100,520,210
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,988,556	△ 15,474,877	△ 7,989,259	43,433,754	△ 9,018,938	△ 6,657,628	△ 3,041,722
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 28,988,556	△ 15,474,877	△ 7,989,259	43,433,754	△ 9,018,938	△ 6,657,628	△ 3,041,722
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 28,988,556	△ 15,474,877	△ 7,989,259	43,433,754	△ 9,018,938	△ 6,657,628	△ 3,041,722
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	229,361,412
一般正味財産期末残高	△ 28,988,556	△ 15,474,877	△ 7,989,259	43,433,754	△ 9,018,938	△ 6,657,628	226,319,690
II 指定正味財産増減の部							
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	163
特定資産受取利息	0	0	0	506	506	0	506
一般正味財産への振替額	△ 2,300,000	0	0	△ 61,056	△ 2,361,056	0	△ 163
当期指定正味財産増減額	△ 2,300,000	0	0	△ 60,550	△ 2,360,550	0	△ 2,360,550
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	46,361,834
指定正味財産期末残高	△ 2,300,000	0	0	△ 60,550	△ 2,360,550	0	44,001,284
III 正味財産期末残高							270,320,974

財務諸表に対する注記（案）

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産の建物、建物附属設備、機械装置及び什器備品は定額法によっている。
- ・無形固定資産の水道施設利用権は定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,000,000	0	0	8,000,000
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	0	0	15,200,000
海外登山基金（注1）	14,289,792	0	0	14,289,792
遭難防止事業基金	10,000,000	0	0	10,000,000
長期計画準備金（注2）	36,512,491	0	0	36,512,491
退職給付引当資産	8,100,896	1,335,932	6,766,000	2,670,828
120周年記念事業特定資産（注3）	3,090,000	0	0	3,090,000
山岳古道調査特定資産（注4）	300,000	0	300,000	0
ヒマラヤキャンプ基金（注5）	6,000,000	0	2,000,000	4,000,000
施設整備特定資産（注6）	1,784,452	0	0	1,784,452
YOUTH CLUB活動特定資産（注7）	500,000	0	0	500,000
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産（注8）	307,389	0	60,548	246,841
坂口三郎基金（注9）	500,000	0	0	500,000
小 計	96,585,020	1,335,932	9,126,548	88,794,404
合 計	104,585,020	1,335,932	9,126,548	96,794,404

（注1）海外登山基金は、本会又は外部団体の海外登山等の助成金及び120周年記念事業を対象とする助成金支出に充てるために保有するものである。

（注2）長期計画準備金については、上高地山岳研究所建物など本会資産の再取得または修繕に備えるために保有するものである。

（注3）本会創設120周年（2025年）に向けて開催される記念事業に関わる諸費用に充てるため保有するものである。

（注4）120周年記念事業の一つである山岳古道調査を目的として受入れ管理するものであり、当年度において目的通りに使用した。

（注5）本会創設120周年記念事業のうちヒマラヤキャンプ費用に充てるとして一個人から受入れた基金であり、当年度はその三分の一の額を使用した。

（注6）施設整備特定資産は、本部事務所の設備、備品などの更新または修繕に備えるために保有するものである。

（注7）YOUTH CLUB活動特定資産は、本部 YOUTH CLUBにおける活動を助成するために保有するものである。

（注8）くじゅう山遭難碑維持管理特定資産は、東九州支部におけるくじゅう山遭難碑の維持管理活動を助成するために保有するものである。当年度においても年間事業費を差し引いている。

（注9）本会栃木支部の会員活動を活発化する目的で創設された基金である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	8,000,000	(8,000,000)	—	—
小 計	8,000,000	(8,000,000)	—	—
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	(15,200,000)	—	—
海外登山基金	14,289,792	(2,000,000)	(12,289,792)	—
遭難防止事業基金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
長期計画準備金	36,512,491	—	(36,512,491)	—
退職給付引当資産	2,670,828	—	—	(2,670,828)
120周年記念事業特定資産	3,090,000	(2,070,000)	(1,020,000)	—
ヒマラヤキャンプ基金	4,000,000	(4,000,000)	—	—
施設整備特定資産	1,784,452	(1,784,452)	—	—
YOUTH CLUB活動特定資産	500,000	(200,000)	(300,000)	—
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	246,841	(246,832)	(9)	—
坂口三郎基金	500,000	(500,000)	—	—
小 計	88,794,404	(36,001,284)	(50,122,292)	(2,670,828)
合 計	96,794,404	(44,001,284)	(50,122,292)	(2,670,828)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
事務所	50,662,465	40,548,944	10,113,521
上高地山岳研究所建物	118,000,000	97,763,471	20,236,529
広島支部ルーム	3,945,694	2,492,016	1,453,678
静岡支部文殊山荘	1	0	1
建物附属設備			
広島支部ルーム	1,211,700	1,211,699	1
照明設備(本部)	708,779	316,586	392,193
給排水設備(山研)	5,184,000	2,952,288	2,231,712
受水槽(山研)	1,566,000	568,327	997,673
テラス、火災報知器他(山研)	5,205,600	5,043,599	162,001
機械装置			
ミニ水力発電装置(山研)	3,816,750	3,740,415	76,335
什器備品			
エアコン(本部)全3基	1,665,793	948,598	717,195
ノートPC(本部)	135,080	78,796	56,284
テレビ、石油ストーブ、冷蔵庫(山研)	542,410	384,098	158,312
給湯設備(山研)	413,532	413,531	1
水道施設利用権			
上高地山岳研究所	1,600,000	1,009,466	590,534
合 計	194,657,804	157,471,834	37,185,970

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
山岳レインジャー事業	山梨県	0	108,000	108,000	0	—
高山植物盗掘パトロール	北海道	0	357,000	357,000	0	—
猿投の森づくり	国土緑化推進機構	0	850,000	850,000	0	—
合計		0	1,315,000	1,315,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息計上による振替額	163
特定資産受取利息計上による振替額	506
受取寄附金計上による振替額	2,360,550
合計	2,361,219

7. 資産除去債務関係

上高地山岳研究所に係る土地の借地契約に伴う原状回復義務を資産除去債務として認識しているが、使用期間が明確でなく、現在のところ施設の撤去並びに退去も予定していないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができないため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,100,896	1,335,932	6,766,000	0	2,670,828

退職給付引当金の計上基準は、財務諸表に対する注記 1. 重要な会計方針の(3)に記載している。

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	本部手元保管	運転資金として	37,585	
	預貯金	振替貯金			
		ゆうちょ銀行00130	ゆうちょ銀行00130	運転資金として	1,368,763
		ゆうちょ銀行00180	ゆうちょ銀行00180	日本山岳会寄付受入口座として	13,485,524
		ゆうちょ銀行00150	ゆうちょ銀行00150	日本山岳会会員証発行申請口座	646,792
		ゆうちょ銀行00150	ゆうちょ銀行00150	日本山岳会120周年記念事業募金受入口座	7,419,655
		普通預金			
		りそな銀行市ヶ谷支店	りそな銀行市ヶ谷支店	運転資金として	755,758
		三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	"	2,888,259
		三井住友信託銀行芝営業部	三井住友信託銀行芝営業部	"	389,315
		ゆうちょ銀行 10070-75776321	ゆうちょ銀行 10070-75776321	"	47,158
		みずほ銀行市ヶ谷支店	みずほ銀行市ヶ谷支店	"	477,663
		三井住友銀行飯田橋支店	三井住友銀行飯田橋支店	"	291,799
三菱UFJ銀行新宿支店	三菱UFJ銀行新宿支店	"	166,384		
三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	運転資金として(保険用口座)	487,888		
もみじ銀行広島駅前支店	もみじ銀行広島駅前支店	広島支部 遭難対策資金として	1,977,617		
定期預金					
みずほ銀行市ヶ谷支店	みずほ銀行市ヶ谷支店	"	4,289,000		
三井住友銀行飯田橋支店	三井住友銀行飯田橋支店	"	6,301,757		
未収会費	令和4年度以前の未収会費	会費請求に対する未収分	2,328,000		
貯蔵品	服飾品など	会員へ頒布用	727,672		
前払費用	年払契約のソフト等の使用料	本部パソコン(サポート料含む)	247,683		
仮払金	120周年事業仮払及び本部助成金等	本部支出助成金等繰越額	7,160,516		
流動資産合計			51,494,788		
(固定資産) 基本財産	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理業務に使用している	8,000,000	
特定資産	秩父宮記念基金	定期預金 三菱UFJ銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、秩父宮家等から寄贈され、長期間保有することにより、その運用益を秩父宮記念山岳賞の顕彰賞金賞金を支給するための基金である。	15,200,000	
	海外登山基金	定期預金 りそな銀行市ヶ谷支店	特定費用準備金であり、日本山岳会または外部団体の海外登山の助成金及び120周年記念事業を対象とする助成金支出に充てるために保有する基金である。	14,289,792	
	遭難防止事業基金	定期預金 みずほ銀行市ヶ谷支店	会員から寄附された遭難防止事業への助成金及び会員等の遭難対策費用に充てるための基金である。	10,000,000	
	長期計画準備金	定期預金 みずほ銀行市ヶ谷支店	資産取得資金であり、公益目的事業・管理業務用資産の再取得または修繕に充てるための基金である。	36,512,491	
	退職給付引当資産	定期預金 りそな銀行市ヶ谷支店	職員への退職金支給に備えるための預金である。	2,670,828	
	120周年記念事業特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行00150	2025年までに予定されている120周年記念事業を遂行するための預金である	3,090,000	
	ヒマラヤキャンプ基金	振替貯金 ゆうちょ銀行00150	2025年までに予定されている120周年記念事業のうちヒマラヤキャンプ事業を遂行するための預金である	4,000,000	
	施設整備特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行00180	登山振興事業、山岳研究調査事業及び公益事業と管理業務のために管理されている預金である。	1,784,452	
	YOUTH CLUB活動特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行00180	本部YOUTH CLUBにおける活動を助成するために保有されている預金である。	500,000	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	普通預金 大分銀行本店	東九州支部における、くじゅう山遭難碑の維持管理活動のために管理されている預金である。	246,841
	坂口三郎基金	定額貯金 ゆうちょ銀行10740	栃木支部の支部活動(主に共益活動)の活発化を目的に受入れた基金である。	500,000
その他固定資産	土地	本部ルーム 97.724264㎡ 東京都千代田区四番町5番4	公益目的保有財産及び管理目的保有財産であり、登山振興事業、山岳研究調査事業及び共益事業と管理業務の施設として利用している。	86,737,705
		広島支部ルーム 13.805312㎡ 広島県広島市南区大須賀町142番地1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として利用している。	3,443,246
		猿投の森隣地 15,416㎡ 愛知県瀬戸市上山路町102番、103番	公益目的保有財産であり、山岳環境保全事業の施設として使用している。	365,168
		静岡支部文殊山荘 2.823㎡ 静岡県静岡市葵区牛妻字中平2480番	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1
	建物	本部ルーム 266.73㎡ 東京都千代田区四番町5番4	公益目的保有財産及び管理目的保有財産であり、登山振興事業、山岳調査研究事業及び共益事業と管理業務の施設として利用している。	10,113,521
		上高地山岳研究所 274.09㎡ 長野県松本市安曇4469番地1	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	20,236,529
		広島支部ルーム 62.35㎡ 広島県広島市南区大須賀町142番地1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として利用している。	1,453,678
		静岡支部文殊山荘 66.00㎡ 静岡県静岡市葵区牛妻字中平2480番	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1
	建物附属設備	本部照明設備	公益目的事業、共益事業及び管理業務の用に使用している。	392,193
		広島支部付属設備	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として利用している。	1
		山岳研究所給排水設備	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	2,231,712
		山岳研究所受水槽	〃	997,673
		山岳研究所テラス他	〃	162,001
	機械装置	山岳研究所ミニ水力発電装置 長野県松本市安曇4469番地1	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	76,335
	什器備品	本部 エアコン、ノートPC	公益目的事業、共益事業及び管理業務の用に使用している。	773,479
		山岳研究所 テレビ、電気冷蔵庫等	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	158,313
	水道施設利用権	山岳研究所の水道組合加入権	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	590,534
固定資産合計				224,526,494
資産合計				276,021,282
(流動負債)	未払費用 前受費 預り金	取引業者の未払金 会員からの前受金 職員・その他からの預り	会報印刷費、発送費などの未払金 令和6年度会費前受分 源泉所得税ほか	974,062 302,000 1,753,418
流動負債合計				3,029,480
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	2,670,828
固定負債合計				2,670,828
負債合計				5,700,308
正味財産				270,320,974